

年 組 番  
(名前)

<新聞記事から考えよう> 190222



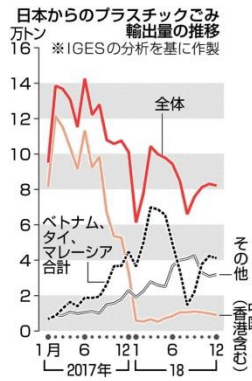
「プラごみ輸出3割減」

プラごみ輸出3割減  
18年、中国が受け入れ制限



東京都港区の処理施設に運び込まれた大量のプラスチックごみ。2017年4月

日本が2018年に輸出したプラスチックごみの量が、17年と比べ3割減ったことが地球環境戦略研究機関（IGES）の分析で21日、分かった。再生材の原料として最大の輸出先だった中国が、環境汚染の懸念から17年末に国内への受け入れを厳しく制限。輸出量が10分の1に激減したのが大きく影響した。代わりに東南アジア向けが増えたが規制を強める動きがあり、受け入れの大幅拡大は難しい状況だ。



IGESの分析を基に作製した。IGES客員研究員は「製品に再生材の使用を義務付けるなど国内対策を一層進めるべきだ」と指摘する。プラスチックの

利用自体を抑える抜本的対策を求める声も強まりそうだ。IGESによる財務省貿易統計の分析によると、17年のプラスチックごみ輸出量は143万トンで、18年は3割少ない101万トンとなった。中国では輸入したプラスチックごみを処理して日用品や工業製品の素材に利用してきたが、環境汚染や健康被害の懸念が浮上。中国政府は17年12月末以降は生活由来の廃プラスチックの輸入を禁止し、さらに産業由来のものも制限した。

日本から中国（香港を含む）への輸出量は、17年前半は月8万〜12万トンだったのが徐々に減り、18年1月には6千トン弱まで落ち込んだ。その後5万〜1万トンに強で推移。年間で見ると、17年の102万トンから18年の10万トンに激減した。中国の規制強化に伴いタイやマレーシア、ベトナムなどへの輸出が増加した。しかし18年に入って輸入制限を設ける国が相次いだほか、さらに規制を強める方針の国もあり、今後日本からの輸出は厳しくなる見込みだ。

◎記事から読み取ろう

○日本のプラごみ輸出についてまとめよう。

<輸出プラごみ量>

2017年度 \_\_\_\_\_ トン

2018年度 \_\_\_\_\_ トン

\_\_\_\_\_ 割減

<輸出量減少の原因>

中国への輸出量が

17年の \_\_\_\_\_ から 18年の \_\_\_\_\_ トンと

\_\_\_\_\_ 分の 1 に激減

(佐賀新聞 2019.2.22 付)

<中国の輸入削減の理由>

中国は、輸入したプラごみを \_\_\_\_\_ に利用してきたが

\_\_\_\_\_ や \_\_\_\_\_ へ配慮して、\_\_\_\_\_ の輸入禁止し、

\_\_\_\_\_ の輸入も制限した。

○国内にあふれるプラごみへの対応として考えられているのはどんなことですか。

◎広げよう・深めよう・◎自分の考えをまとめよう

\*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○プラごみの原因となるプラスチック製品と私たちの日常生活の関わり方について考えてみよう。